

## 第341回 番組審議会

1. 日 時 令和7年 5月 13日 (火) 12:00～
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING  
11F「ギャラクシー」
3. 委 員 委員総数 8名  
出席委員数 6名

### ○ 出席委員 (敬称略)

佐藤 修一 (副委員長)

—50音順—

石田 征広

大瀬 雅和

菅原 正二

平野 順子

八木橋 伸之

### ○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)

高嶋 昇 (常務取締役営業局長)

君澤 温 (常務取締役総務局長)

櫻 克宏 (取締役報道局長)

近谷 利政 (取締役コンテンツ推進局長)

玉山 佑典 (番組制作部)

### ○ 事務局

岩渕 博美

4. 議題 「ちがいはいろどり～盛岡の老舗百貨店から生まれる新たな文化～」  
放送日時：令和7年5月3日（土） 14：00～14：55

5. 議事概要

今回は5月3日に放送した「ちがいはいろどり～盛岡の老舗百貨店から生まれる新たな文化～」について審議しました。

はじめにディレクターの玉山 佑典が「盛岡の老舗百貨店の川徳と世界に挑戦するヘラルボニーが I S A I P A R K という新たな場所を完成するまでの半年間を追った」「盛岡から新しい文化を作る、発信していく空間がどう作られて、どんな場所になるのかを勉強させていただきながら番組を作った」と、番組のテーマや内容について説明しました。

**【委員からの意見】**

委員からは「川徳の再建のほかにも、盛岡の歴史を出していて面白かった」「川徳とヘラルボニーの2軸が1本化していて、ドキュメンタリーとして見やすかった」「川徳・ヘラルボニー両方とも期待感があり今後も取材してほしい」といった意見が出ました。

一方で、「ヘラルボニーの盛岡の店舗の位置づけ、他店との違いがあるとよかった」「コロナ禍の川徳の現状なども伝えると、親身になって地元の人は見られたのではないか」という意見もありました。